

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.98

【内容】 車検の3日後にオーバーヒートした

・車名：乗用車 ・登録年月：平成16年 ・走行距離：148,000km

2月下旬にE社（ガソリンスタンド）で車検を受けたが、納車3日後に水温異常を示す警告灯が点灯した為、エンジンを止めてレッカーでE社に入庫した。E社の診断によれば、ラジエータの交換が必要で、概算見積（工賃含め7万円位）を確認して作業を依頼した。E社での車検は今回で2回目となるが、以前も不具合があったので、①このオーバーヒートは、本当にラジエータからの水漏れが原因なのか（交換部品を近くのディーラーに持ち込んで話しを聞いたところ、ラジエータキャップの弁が原因かもしれないと言われた）。また、②車検時の点検整備にミスがあったのではないのか相談したいとのこと。

【対応】

早速、E社車検センター（認証工場）のセンター長から話を聞いたところ、2月18日に車検入庫しており、通常通りの点検とドライブシャフトブーツ交換、ブレーキフルード交換、ワイパー交換、エンジンオイル交換（フラッシングを含む）を実施、LLCの交換はせず、ラジエータ付近の水漏れはないので、目視による確認で記録簿に“良好”と記録した。また、相談者が主張する故障は納車3日後ではなく、最近（5月18日入庫）のことであり、車検後約3ヶ月、その間2千km程走行していた。再点検したところ、経年劣化によりラジエータアッパータンクから水漏れが生じていた。当社の整備保証は、6ヶ月又は5千kmのいずれかの早い時点まで保証することになっているが、今回のケースでは点検作業は実施したものの、LLC等の整備・交換作業は実施しておらず、消耗、摩耗、経年変化などによる不具合の事象となるため、保証の適用外である。そのため、相談者の負担を軽減すべく、純正品よりも安価な社外品の部品で交換修理する概算見積書を作成し、受付店舗を通じて相談者に説明したが、うまく伝わっていなかったようである。今回は、ラジエータからホース等の周辺補機まで、センター長自ら交換したので、間違いなく修復できているとの回答であった。

以上の内容について相談者に伝えたところ、最初は興奮気味であったが、「振興会は値段の交渉はできない」ときっぱり話した上で、もう一度時系列で同じ内容の説明をした結果、興奮状態も収束し納得した様子であったので、電話を切った。

ヘッドランプオートレベリングのリセット作業について

ダイハツ工業株式会社

2015年8月以降のヘッドランプオートレベリングシステムはGセンサ内蔵のヘッドランプレベリングコンピュータを使用しています。それに伴い、コンピュータのリセット作業が必要な場合があります。作業内容によって、リセット作業を行わなかった場合、光軸ずれが発生するおそれがあります。

■対象車種（2019年9月現在）

車種	車両型式	生産期間
ウェイク	LA700系	2016/05～
キャスト	LA250系	2015/08～2017/09
タント	LA600系	2015/11～
	LA650系	2019/07～
トール	M900系	2016/11～
ブーン	M700系	2016/04～
ハイゼット キャディ	LA700系	2016/05～
ムーヴ	LA150系	2015/10～2017/07
ムーヴ キャンバス	LA800系	2016/08～

※オートレベリング装着車のみ

■オートレベリングシステムの注意点

ヘッドランプの光軸確認・調整等の作業を行う前に、必ずリセット作業を実施してください。

光軸ずれ発生の一例

① 車検検査ライン



② ブレーキテスト



後輪の制動力検査にて
車両姿勢が変化し、
オートレベリング作動

③ ヘッドランプテスト



直後のヘッドランプ
光軸の検査にて光軸が
下がったまま

④ 光軸調整



光軸調整で光軸を上げる

⑤ 作業終了後



一定距離走行すると、
走行補正がかかり、光軸が
上がる（光軸ずれの発生）

停車直後に乗降するなど車両姿勢が安定しない場合、
停止中の光軸補正がかからず、走行補正（約1～2km）が必要となる
場合があります。

■リセットが必要となる作業内容一覧

分類	作業内容	リセット要否 (●：必須作業 ○：推奨作業)	備考
ヘッドランプ	光軸確認	●	・確認前にリセット
	光軸調整	●	・作業前にリセット
	光軸調整（微調整）	●	・お客様から光軸微調整の要望時も 作業前にリセット
	ヘッドランプ交換	●	・交換後、光軸調整前に実施
	ヘッドランプ脱着	●	・脱着後、光軸調整前に実施
ヘッドランプ レベリング コンピュータ	コネクタ脱着 （IG SW“ON”時）	○	・一時的な光軸ズレ発生の可能性あり ・光軸ズレの場合はリセットで修正可能※
バッテリー	端子外し （IG SW“ON”時）	○	・一時的な光軸ズレ発生の可能性あり ・光軸ズレの場合はリセットで修正可能※
ジャッキ アップ	ジャッキ降ろし時、タイヤ下に 板等を挟み自走で板上から降りる	○	・IG SW“OFF”中に路面勾配が異なる状況に なった場合、一時的に光軸がズれる※
移動関連	レッカー移動	○	・IG SW“OFF”中に路面勾配が異なる状況に なった場合、一時的に光軸がズれる※
	積車	○	
	手押し	○	・故障内容によらず、自走以外で 入庫された場合はリセット必要

■リセット作業要領

(1) リセット前作業

- ・タイヤの空気圧を指定値に調整する。 ・冷却水、潤滑油を規定量にする。 ・無乗員にする。
- ・空車状態にする。（スペアタイヤおよび車載工具は搭載） ・ヘッドランプは消灯する。
- ・水平位置に停車中で車高の変化がない。（車両姿勢が安定している） ・パーキングブレーキを解除する。

(2) リセット作業

[1] DS-Ⅲによるリセット

1. DS-Ⅲを使用して、[オートレベリング]の[アクティブ テスト]を選択し、[リセット実施]を実施する。

[2] ヘッドランプ ディマ SW 操作によるリセット

1. ライトコントロール SW を“TAIL”（LA650 系：“AUTO”）にする。

2. IG SW を“ON”にする。

3. ディマ SW を“PASS”（手前に引いた）状態①で

ライトコントロール SW を“TAIL”→“HEAD”

（LA650 系：“AUTO”→“HEAD”）操作を 5 回行う②。

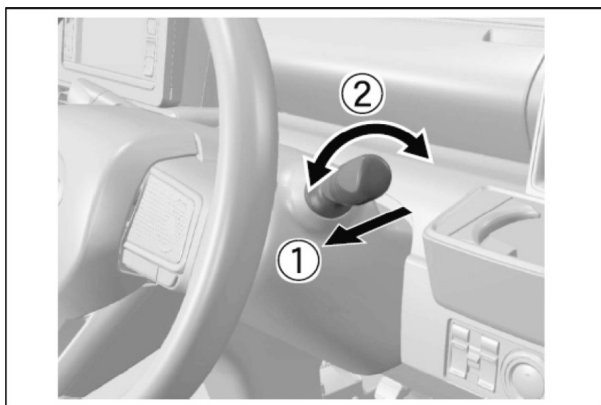
[注意] ・最初のライトコントロール SW “TAIL”→“HEAD”

（LA650 系：“AUTO”→“HEAD”）操作は、IG SW “ON”から 5 秒以内に実施すること。2 回目以降は前回の操作から 3 秒以内に実施すること。

4. ディマ SW を“LO”状態に戻す。

[注意] ・5 回目のライトコントロール SW “TAIL”→“HEAD”（LA650 系：“AUTO”→“HEAD”）操作から 10 秒以内に実施すること。

5. メータ内のヘッドランプ オートレベリング ウォーニング ランプの表示により正常終了を確認する。
 [基準] ヘッドランプ オートレベリング ウォーニング ランプが5回点滅をIG SW“OFF”まで継続



検査予約キャンセル状況(2月分)

2月分のキャンセル多発事業場はありませんでした。ご協力ありがとうございます。
 引き続き、予約の申し込みとキャンセルには、十分なご配慮をお願い致します。

なお、業務委員会では、予約情報を共有し安定した予約制度とするため、検査前日の18時以前に予約が取り消された件数を会報に掲載することとしましたのでお知らせいたします。

安定した予約制度となるため、確実な予約を行うようご協力下さい。

2月分のキャンセル件数は次のとおりです。

(台)

普通車	3 2 1
軽自動車	1, 0 2 0
合 計	1, 3 4 1

= 統 計 =

会員移動・変更状況について

◇ 入会

支 部	認証	事業場名・所在地	代表者	TEL・FAX
都留	1441	カーメンテナンス ヤナギ 都留市井倉531-2	柳原一之	090-3504-2224 0554-43-0617